未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２３・１２・１５

校長室通信　　No. ３５

「プラムズヒル」の方々による ハンドベルコンサートを開催しました!!

12月13日（水）の中休みの時間に、プラムズヒルの方々に「ハンドベルコンサート」を開催していただきました。梅が丘小学校では、これまで長年にわたり、毎年12月にクリスマスコンサートとして開催してきていただいてきましたが、今回は、梅が丘小学校での最後のコンサートになるということで、コンサートの最後には、「マツケンサンバ」の楽しい演奏で締めくくっていただきました。用意していただいたキラキラ輝く飾り物を回しながら、楽しく踊ってくれていたみんなの姿が、とても印象的でした。長きにわたり、お世話になったプラムズヒルの皆様方に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

保護者のみなさまへ

「中島みゆき」考 ～人を癒やす言葉～

私事ですが・・・、大学受験に失敗し、１年間の浪人生活を余儀なくされ、予備校通いをしていた19歳の頃、夜、家で受験勉強の合間につけたラジオから流れてくる歌に衝撃を受け、思わず聞き入ったことを、今でも鮮明に思い出します。

今はこんなに悲しくて　　涙もかれ果てて
もう二度と笑顔には　　なれそうもないけど
そんな時代もあったねと　いつか話せる日がくるわ
あんな時代もあったねと　きっと笑って話せるわ
だから今日はくよくよしないで　今日の風に吹かれましょう

1975年５月に開催された「第10回ポピュラーソング・コンテスト」でグランプリを受賞し、同年11月に開催された「第６回世界歌謡祭」でもグランプリを受賞した「時代」というこの曲をはじめ、数々の名曲を生み出してきた、北海道札幌市出身の中島みゆきさんの歌に、私自身、これまでどれだけ支えられ、勇気づけられ、励まされてきたことか・・・。

あれから数十年が経った今でも、多くのヒット曲を生み出し続ける彼女の珠玉のような言葉の数々は、日本中の人々を魅力しています。

そんな中、数年前に、ある新聞を読んでいると、次のような記事を目にしました。

> **小学3年生だった中島みゆきは、いけない言葉を口にして、父から「言葉で切った傷につける薬はない。」と叱られたという。そのときに、「切る言葉があるんなら、治す言葉があるんじゃないか。」と思ったことが、珠玉の言葉を紡ぎ続けるシンガー・ソングライターの原点にある・・・。**
>
> **― 2019年３月13日 「朝日新聞」朝刊より ―**

たとえ何気なく発した言葉であったとしても、その言葉が人を傷つける刃（やいば）になることがあること、そしてまた、人の傷ついた心を癒やすことができる宝石のような言葉もあるということ・・・、そんな「言葉」の大切さを、我々大人がしっかり子どもたちに伝え、そのうえで、子どもたちに愛情いっぱいの優しさで接していくことが何よりも大切であると、日々痛切に感じている今日この頃です。

これからますます寒くなる季節ですが、保護者の皆様におかれましては、お体に十分留意されますようお願い申し上げます。そしてまた、これからの社会をささえていく「未来の宝」である子どもたちへのご支援につきまして、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。